

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 東大

上場会社名 宮越商事株式会社  
 コード番号 6766 URL <http://www.miyakoshi-corp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 板倉 啓太  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5493-8111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	18,148		499		106		22	
20年3月期第3四半期	22,081	7.6	382	9.7	380	18.0	354	9.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1.46	
20年3月期第3四半期	23.26	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	29,121	17,281	57.9	1,084.92		
20年3月期	29,376	17,524	58.1	1,098.65		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 16,854百万円 20年3月期 17,068百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		0.00	0.00
21年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	23.9	490	15.9	110	80.6	60	87.4	2.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	15,542,176株	20年3月期	15,542,176株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	6,733株	20年3月期	6,352株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	15,535,657株	20年3月期第3四半期	15,239,662株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合がありますことをご承知置き下さい。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国金融不安に端を発する世界的な株価下落や円高などを背景に、個人の消費意欲の減退や企業業績の悪化による設備投資の大幅抑制など、景気後退は一段と鮮明になっております。

このような状況にあって当社グループは、電気機器部門においては、主な販売地域であるドイツを中心にしたヨーロッパ地域におけるテレビの需要が減少傾向にあり、更に円高によるコストの上昇などにより、厳しい環境下にあります。一方で、本年度から新たに参入した食品事業は、順調に立ち上げが進み2月中旬には新製品を市場に投入する運びとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,148百万円となり、営業利益は499百万円、経常利益は106百万円、四半期純利益は22百万円となりました。

事業の種類別販売状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

事業別	部門別	当第3四半期 累計期間	前第3四半期 累計期間	前年同期比
電気機器等の製造販売事業	音響機器	1,466	749	95.7%
	映像機器	13,123	16,942	22.5%
	その他電気機器	719	1,882	61.8%
物資等、医薬品及び医療 器具等の販売事業	家庭用品等	1,591	1,021	55.9%
	資材等	786	1,077	26.9%
不動産開発及び賃貸管理等事業		448	408	9.8%
有機食品事業		12		
合計		18,148	22,081	17.8%

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は29,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少いたしました。流動資産は13,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,217百万円減少いたしました。この主な要因は未収入金債権の減少(5,984百万円)によるものであります。また、固定資産は15,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,962百万円増加いたしました。この主な要因は長期貸付金の増加(6,338百万円)によるものであります。

当第3四半期の純資産合計は17,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円減少いたしました。この主な要因は評価・換算差額等の減少(236百万円)によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は57.9%となり前期末に比べ0.2ポイント減少いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しにつきましては、株安・円高による景気後退の長期化が懸念される状況下、消費意欲の減退が主力の電気機器の売上高に大きく影響し、企業収益も圧迫されると思われることから、平成20年11月13日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、本日付で一部修正いたします。

一方、有機食品事業につきましては、2月中旬にはドレッシング、レモン果汁の新製品を市場に提供できる運びとなり来期の業績に、寄与するものと期待しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結累計期間は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期適用しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益に与える影響はありません。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

これにより、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及び四半期純利益に与える影響はありません。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	322	498
売掛金	7,976	6,949
たな卸資産	<sup>2</sup> 114	<sup>2</sup> 125
短期貸付金	5,372	6,479
その他	78	6,030
貸倒引当金	13	16
流動資産合計	13,850	20,068
固定資産		
有形固定資産	<sup>1</sup> 432	<sup>1</sup> 547
無形固定資産		
のれん	2,334	2,422
その他	1,588	1,787
無形固定資産合計	3,922	4,209
投資その他の資産		
長期貸付金	10,678	4,339
その他	237	213
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	10,915	4,551
固定資産合計	15,270	9,308
資産合計	29,121	29,376
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,515	2,512
短期借入金	322	192
未払法人税等	68	50
引当金	4	6
その他	521	563
流動負債合計	3,432	3,325
固定負債		
長期借入金	8,075	8,224
引当金	67	57
その他	264	245
固定負債合計	8,407	8,526
負債合計	11,840	11,852

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,164	8,164
資本剰余金	7,848	7,848
利益剰余金	1,134	1,111
自己株式	9	9
株主資本合計	17,137	17,115
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	282	46
評価・換算差額等合計	282	46
少数株主持分	426	455
純資産合計	17,281	17,524
負債純資産合計	29,121	29,376

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	18,148
売上原価	17,129
売上総利益	1,018
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 519
営業利益	499
営業外収益	
受取利息	11
その他	0
営業外収益合計	11
営業外費用	
支払利息	8
為替差損	395
その他	0
営業外費用合計	404
経常利益	106
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3
その他	1
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産除却損	15
その他	0
特別損失合計	15
税金等調整前四半期純利益	94
法人税、住民税及び事業税	28
法人税等調整額	35
法人税等合計	63
少数株主利益	7
四半期純利益	22

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日) (単位:百万円)

	電気機器等製造販売事業	物資等、医薬品及び医療器具等販売事業	不動産開発及び賃貸管理等事業	有機食品事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,309	2,378	448	12	18,148		18,148
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高			67	5	73	(73)	
計	15,309	2,378	515	18	18,222	(73)	18,148
営業利益	555	19	65	5	645	(146)	499

(注) 1 製品・商品の種類、販売方法等の共通性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っておりません。

2 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
電気機器等製造販売事業	カラーTV、DVDプレーヤー、マルチメディアプレーヤー
物資等、医薬品及び医療器具等販売事業	金属加工品、雑貨等、ライセンス手数料等
不動産開発及び賃貸管理等事業	賃貸料、管理料等
有機食品事業	有機レモン果汁、有機オリーブオイル、有機ドレッシング等

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占めるアジア地域の割合が100%のため、所在地別セグメント情報については記載しておりません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社及び連結子会社の海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高については記載しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約)前四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金 額
売上高	22,081
売上原価	21,245
売上総利益	835
販売費及び一般管理費	453
営業利益	382
営業外収益	91
営業外費用	92
経常利益	380
特別利益	12
特別損失	0
税金等調整前四半期 純利益	393
税金費用	25
少数株主利益	13
四半期純利益	354